

2171  
#2  
SM

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Itomi HOMMA, et al.

GAU: 2171

SERIAL NO: 09/874,982

EXAMINER:

FILED: June 7, 2001

FOR: ARTICLE INFORMATION PROVIDING SYSTEM AND MEDIATE APPARATUS



REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS  
WASHINGTON, D.C. 20231

RECEIVED

AUG 22 2001

Technology Center 2100

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number [US App No], filed [US App Dt], is claimed pursuant to the provisions of **35 U.S.C. §120**.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of **35 U.S.C. §119(e)**.
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of **35 U.S.C. §119**, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	2000-170658	June 7, 2000

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .  
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and  
(B) Application Serial No.(s)
  - ☐ are submitted herewith
  - ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,  
MAIER & NEUSTADT, P.C.

Paul A. Sacher  
Marvin J. Spivak  
Registration No. 24,913



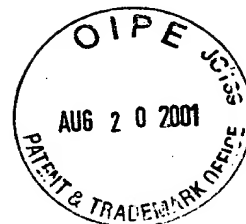
22850

Tel. (703) 413-3000  
Fax. (703) 413-2220  
(OSMMN 10/98)

Paul A. Sacher  
Registration No. 43,418

09/874,982

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年 6月 7日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-170658

出 願 人  
Applicant (s):

花王株式会社

RECEIVED

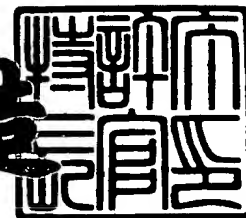
AUG 22 2001

Technology Center 2100

2001年 3月 9日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3017667

【書類名】 特許願

【整理番号】 P00-238

【提出日】 平成12年 6月 7日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 商品情報提供システム及び仲介装置

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花2丁目1-3 花王株式会社研究所内

【氏名】 本間 意富

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花2丁目1-3 花王株式会社研究所内

【氏名】 池田 浩

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花2丁目1-3 花王株式会社研究所内

【氏名】 伊藤 健

【特許出願人】

【識別番号】 000000918

【氏名又は名称】 花王株式会社

【代理人】

【識別番号】 100083806

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

【識別番号】 100068342

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

【選任した代理人】

【識別番号】 100079946

【弁理士】

【氏名又は名称】 横屋 赳夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品情報提供システム及び仲介装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報希望者が商品についての希望を希望情報として入力し、  
情報提供者からの前記希望情報に対応する情報を受信する携帯端末と、

前記希望情報を前記情報提供者に仲介する仲介装置と、  
を有する商品情報提供システム。

【請求項 2】 前記仲介装置は、前記希望情報に含まれるワードに基づいて  
前記希望情報の配信先である情報提供者を決定する配信先決定手段を有する請求  
項 1 記載の商品情報提供システム。

【請求項 3】 前記仲介装置は、各情報提供者とキーワードとを対応付けて  
登録する登録手段と、

前記希望情報の中から前記キーワードを検索する検索処理を実行する検索手段  
とを有し、

前記配信先決定手段は、前記希望情報の中から前記キーワードが検索された場  
合に該キーワードと対応付けて登録された情報提供者を前記希望情報の配信先と  
して決定する請求項 2 記載の商品情報提供システム。

【請求項 4】 情報希望者が商品について入力した希望情報を情報提供者に  
仲介する仲介装置であって、

前記希望情報に含まれるワードに基づいて前記希望情報の配信先である情報提  
供者を決定する配信先決定手段を有する仲介装置。

【請求項 5】 各情報提供者とキーワードとを対応付けて登録する登録手段  
と、

前記希望情報の中から前記キーワードを検索する検索処理を実行する検索手段  
とを有し、

前記配信先決定手段は、前記希望情報の中から前記キーワードが検索された場  
合に該キーワードと対応付けて登録された情報提供者を前記希望情報の配信先と  
して決定する請求項 4 記載の仲介装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品情報を提供するシステム及び仲介する装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

消費者が店頭で商品を購入する場合、予め購入したい商品名がわかっているならば、特に問題なく当該商品を購入すれば良い。しかし、例えば、消費者が商品名について知らず、「このような物がほしい」、あるいは、「このようになりたいがそのための商品があるか」といった、商品についての漠然とした希望があったりすることもある。

【 0 0 0 3 】

このような場合、消費者は、事前に広告やカタログ等を集めて商品进行评估したり、店頭で店員のアドバイスを受け、アドバイスに従って各商品を手に取り見比べたりして、希望に合った商品を選んでいく。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、消費者が希望に合った商品を購入するため、多数の広告やカタログ等を集めて商品进行评估しなければならなかった。また、消費者の希望する商品についての専門家のアドバイスを受けられず、希望する商品を的確に選択することができないこともあった。

【 0 0 0 5 】

本発明は、消費者が希望する商品を的確に選択することができる商品情報提供システム及び仲介装置を提供することにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために、本発明の商品情報提供システムは、情報希望者が商品についての希望を希望情報として入力し、情報提供者からの希望情報に対応する情報を受信する携帯端末と、希望情報を情報提供者に仲介する仲介装置とを有する。

## 【0007】

また、本発明の仲介装置は、情報希望者が商品について入力した希望情報を情報提供者に仲介する仲介装置であって、希望情報に含まれるワードに基づいて希望情報の配信先である情報提供者を決定する配信先決定手段を有する。

## 【0008】

## 【発明の実施の形態】

図1に示す本発明の商品情報提供システムの第1実施形態は、情報提供を希望する情報希望者（例えば消費者）が所有する携帯端末1（又はPC）と、仲介業者が所有し且つ携帯端末1等と情報の送受信を行う仲介装置2と、複数の情報提供者（例えば複数の企業）が所有し且つ仲介装置2と情報の送受信を行う複数の情報提供装置3（3a～3c・・・）とを備えて構成される。

## 【0009】

携帯端末1は、消費者が所有する携帯電話等であり、情報希望者が商品についての希望を希望情報として入力し、情報提供者から希望情報に合った情報を受信する。希望情報は、複数のワード（単語）の組み合わせからなる。情報提供者からの（希望に合った）情報としては、例えば商品名を表す商品情報や商品を説明したカタログ等の付加情報を含む。

## 【0010】

仲介装置2は、メールサーバ等のコンピュータシステムに含まれ、通信回線を経由して携帯端末1から入力された希望情報をメーカ、商社などの企業である情報提供者に仲介し、情報提供者から提供される希望情報に合った情報を情報希望者に仲介する。

## 【0011】

仲介装置2は、図1に示すように、受信手段21、登録手段22、検索手段23、配信先決定手段24、配信手段25、受信手段26及び送信手段27を備えて構成されている。

## 【0012】

受信手段21は、例えば携帯端末1からの希望情報を電子メール（以下メールと称する。）として受信する。



【0013】

登録手段22は、メモリで構成されており、各情報提供者毎にキーワードを登録する。

【0014】

検索手段23は、受信手段21で受信した希望情報の中から、登録手段22に登録されたキーワードを検索する検索処理を各情報提供者毎に実行する。

【0015】

配信先決定手段24は、希望情報の中から検索されたキーワードに対応する情報提供者のみを希望情報の配信先として決定する。

【0016】

配信手段25は、配信先決定手段24により決定された情報提供者のみに希望情報を配信するメールサーバを有する。

【0017】

受信手段26は、希望情報を受信した情報提供者が希望情報に応答して提供する情報を受信する。送信手段27は、受信手段26で受信した情報を携帯端末1に送信する。

【0018】

各情報提供装置3は、コンピュータで構成され、商品群毎に各商品の商品名を含む商品情報等の情報をデータベースに格納しており、仲介装置2から送られてくる希望情報に合った情報をデータベースから読み出して仲介装置2に送信する。商品群としては、例えば、化粧品、整髪料、洗剤等が挙げられる。

【0019】

次に商品情報提供システムの動作を図2を参照して説明する。

【0020】

まず、登録手段22に各情報提供者とキーワードとを対応付けて登録する。すなわち、各情報提供者毎にキーワード $W(N)$  ( $N=A, B, C \dots$ ) を登録しておく。 $A, B, C \dots N$ は、各情報提供者を表す。例えば、情報提供者Aであれば、キーワード $W(A) = W_{A1}, W_{A2}, W_{A3} \dots$  を登録する。 $W_{A1}, W_{A2}, W_{A3}$  は、各キーワードである。

## 【 0 0 2 1 】

次に、情報希望者が携帯端末 1 から希望情報をメールで仲介装置 2 に送信すると、受信手段 2 1 は、情報希望者  $n$  からのメール  $M(n)$  ( $n = a, b, c \dots$ ) を受信する。 $a, b, c \dots$  は、各情報希望者を表す。

## 【 0 0 2 2 】

検索手段 2 3 は、情報希望者  $n$  からのメールに情報提供者  $N$  のキーワードが存在するか否かの検索作業を実施する。

## 【 0 0 2 3 】

$S(n, N)$  は、検索結果を表す。 $S(a, A)$  は、情報希望者  $a$  のメール  $M(a)$  に情報提供者  $A$  のキーワードが存在するか否かの検索結果を表す。この検索処理は、メール毎に且つ各情報提供者毎に行なわれる。

## 【 0 0 2 4 】

次に、配信先決定手段 2 4 は、検索手段 2 3 で検索された検索結果  $S(n, N)$  に基づいて、情報希望者  $n$  からのメールが情報提供者  $N_1, N_2, N_3 \dots$  のキーワードにヒットしたことを表す配信先結果  $R(n, N_1 \cdot N_2 \cdot N_3 \dots)$  を得る。すなわち、配信先決定手段 2 4 により、メールの配信先である情報提供者  $N_1, N_2, N_3 \dots$  を決定することができる。例えば、情報希望者  $a$  からのメールは、 $N_{a1}, N_{a2}, N_{a3} \dots$  へ配信される。

## 【 0 0 2 5 】

次に、配信手段 2 5 は、配信先設定手段 2 4 によって決定された配信先結果に従って情報希望者  $n$  からのメールを情報提供者  $N_1 \cdot N_2 \cdot N_3 \dots$  へ配信する。

## 【 0 0 2 6 】

メールを受信した各情報提供者は、情報希望者からのメールを解読し、情報希望者  $n$  宛ての回答メール  $A(n)$  を作成する。すなわち、希望情報に合った情報を作成する。各情報提供者  $N_1 \cdot N_2 \cdot N_3 \dots$  は、仲介装置 2 の情報希望者  $n$  の私書箱へ回答メール  $A(n1), A(n2), A(n3) \dots$  を送信する。そして、情報希望者  $n$  は、自己宛てのメール  $A(n1), A(n2), A(n3) \dots$  を読む。

【0027】

次に、商品情報提供システムの動作の具体例を説明する。

【0028】

(1) まず、情報希望者が携帯端末1から仲介業者の仲介装置2に対してメールを送信する。このメールは、例えば「この春、新発売になるヘアカラー製品の中で、鮮やかな赤色になるものが欲しい。ヘアマニキュアでも良い。値段と大きさも知りたい。」という内容である。

【0029】

(2) 次に、仲介装置2は、各社毎に各社の登録キーワードにより、メール中のキーワードを検索する。ここで、『ヘアカラー』というキーワードが情報提供者であるA社、B社、C社から登録され、『ヘアマニキュア』というキーワードがA社、B社、D社から登録されている。

【0030】

各社の登録キーワードにより検索を行った結果、A社、B社が『ヘアカラー』と『ヘアマニキュア』にてヒットし、C社が『ヘアカラー』のみにてヒットし、D社が『ヘアマニキュア』のみにてヒットした。このため、配信先としてA社、B社、C社、D社を決定する。

【0031】

(3) 次に、仲介装置2は、A社、B社、C社、D社に対して情報希望者からのメールを送信する。

【0032】

(4) 各情報提供者は、情報希望者からのメールを読み、該メールの内容に基づいて自社の製品の中から該当する商品を選出し、情報希望者の要望に応えるメール（選出された商品についての商品情報を含む。）を仲介装置2に送信する。

【0033】

(5) 情報希望者は、仲介装置2内のメール受信サーバへアクセスし、自己宛ての情報提供者からのメールを読み、メールに基づいて自己宛ての情報提供者の商品を検討する。

このように第1実施形態の商品情報提供システムは、店頭等で携帯端末により

情報希望者が商品についての希望情報を入力すると、仲介装置が希望情報に合った情報を提供し、情報希望者は、提供された情報を携帯端末で取り出せるので、該情報を参照して希望する商品を的確に選択することができる。

## 【0034】

これによって、広告やカタログ等を集める必要がなくなるため、情報希望者の負担を軽減することができる。また、店員のアドバイスを受けなくても希望する商品を的確に選択することができる。

## 【0035】

図3は商品情報提供システムの第2実施形態を示す。第1実施形態の商品情報提供システムでは、配信手段25は、メールを情報提供者に転送する。これに対して第2実施形態の商品情報提供システムでは、配信手段25aは、決定された各配信先毎に設けられた記憶領域である私書箱にメールを登録する電子掲示板手段を備える。登録されたメールは情報提供者によりアクセスされ読み出される。このため、第2実施形態の商品情報提供システムの動作は、第1実施形態の商品情報提供システムの動作に対して配信手段25aの処理と情報提供装置3の処理とが異なる。よって、以下これらの処理のみを説明する。

## 【0036】

まず、配信手段25aは、情報希望者nからのメールを情報提供者 $N_1 \cdot N_2 \cdot N_3 \cdots$ 用の私書箱 $B(N)$ へ登録する。例えば、メール $M(a)$ は、私書箱 $B(N_{a1})$ 、 $B(N_{a2})$ 、 $B(N_{a3})$ へ登録される。

## 【0037】

各情報提供者は、自己の私書箱へアクセスし、情報希望者からのメールを読み出して、情報希望者からのメールを解読し、情報希望者n宛ての回答メール $A(n)$ を作成する。すなわち、希望情報に合った情報が作成される。各情報提供者 $N_1 \cdot N_2 \cdot N_3 \cdots$ は、仲介装置2の情報希望者nの私書箱へ回答メール $A(n1)$ 、 $A(n2)$ 、 $A(n3) \cdots$ を送信する。情報希望者nは、自己宛てのメール $A(n1)$ 、 $A(n2)$ 、 $A(n3) \cdots$ を読む。

## 【0038】

このように第2実施形態の商品情報提供システムによっても、第1実施形態の

商品情報提供システムの効果と同様な効果を得ることができる。

【 0 0 3 9 】

なお、本発明は、前述した実施の形態の商品情報提供システムに限定されるものではない。各情報提供装置 3 は、商品情報と商品を説明したカタログ等の付加情報とを仲介装置 2 に送信し、携帯端末 1 が仲介装置 2 から商品情報と付加情報とを読み出しても良い。これによって、情報希望者は、商品情報と付加情報とを参照することにより、さらに商品を的確に選択することができる。

【 0 0 4 0 】

また、実施の形態では、情報提供装置 3 が希望情報に合った情報を仲介装置 2 に自動返信したが、例えば、希望情報に関連する情報提供装置 3 中の商品情報を情報提供者のオペレータが手動で選択して送信しても良い。この場合は、オペレータにより各種コメントを情報として付加できる。

【 0 0 4 1 】

また、情報提供者が希望情報に合った情報を仲介装置 2 に送信し、情報希望者が仲介装置 2 からの情報を携帯端末 1 で読み出すのではなく、情報提供者が希望情報に合った情報を仲介装置 2 を介さずに携帯端末 1 に直接送信しても良い。

【 0 0 4 2 】

携帯端末としては、携帯電話を始めとする、所謂無線方式による、通信及び情報を入出力可能にした装置がある。携帯端末として、携帯電話を用いる場合には、入力及び出力に音声を用いることも可能であり、この場合情報希望者が音声で入力した音声情報より情報提供者に対応付けられたキーワードを抽出することで配信先の情報提供者を決定する。具体的には、キーワードを音声情報として登録しておき直接対応を検索してもよいし、一旦メッセージを文字情報にして検索してもよい。

【 0 0 4 3 】

実施の形態の如く、文字情報とすることで、マッチングの高速化が図れる。また、音声による希望情報を情報提供者に配信すれば、声により言葉の意味以外の情報、例えば音の強弱による情報希望者の強い希望の部分が判断でき、情報提供者がより適切な商品情報を情報希望者に提供できる。

【 0 0 4 4 】

なお、画像情報を付加することで情報希望者と情報提供者との間でより適切な情報交換ができる。

【 0 0 4 5 】

また、本仲介装置は必ずしも仲介業者が所有する必要はなく消費者相談窓口のような組織内に設けてもよく、そのときは前記情報提供者は1つの会社内の複数の事業所でも良い。さらに、選択されるものは、商品に限らずサービスでも良い。

【 0 0 4 6 】

【発明の効果】

本発明によれば、情報希望者が商品についての希望情報を入力すると、仲介装置が情報提供者からの情報を提供し、情報希望者は、提供された情報を携帯端末で取り出せるので、商品情報提供者からの直接の情報を参照して希望する商品を的確に選択することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

実施の形態の商品情報提供システムを示す構成ブロック図である。

【図 2】

商品情報提供システムの第 1 実施形態の基本的な動作を示す図である。

【図 3】

商品情報提供システムの第 2 実施形態の基本的な動作を示す図である。

【符号の説明】

- 1 携帯端末
- 2 仲介装置
- 3 情報提供装置
- 2 1 受信手段
- 2 2 登録手段
- 2 3 検索手段
- 2 4 配信先決定手段

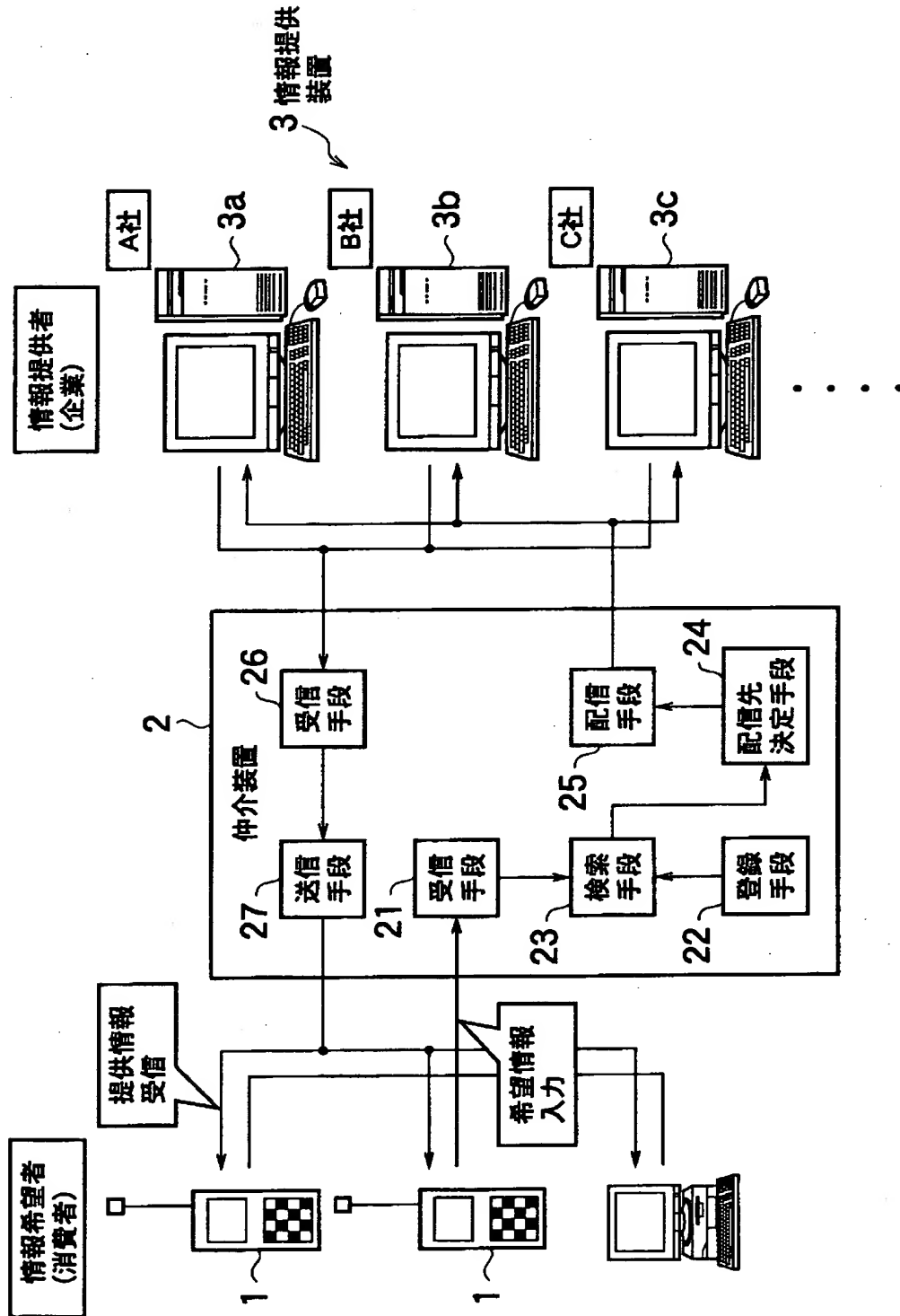
2 5 配信手段

2 6 受信手段

2 7 送信手段

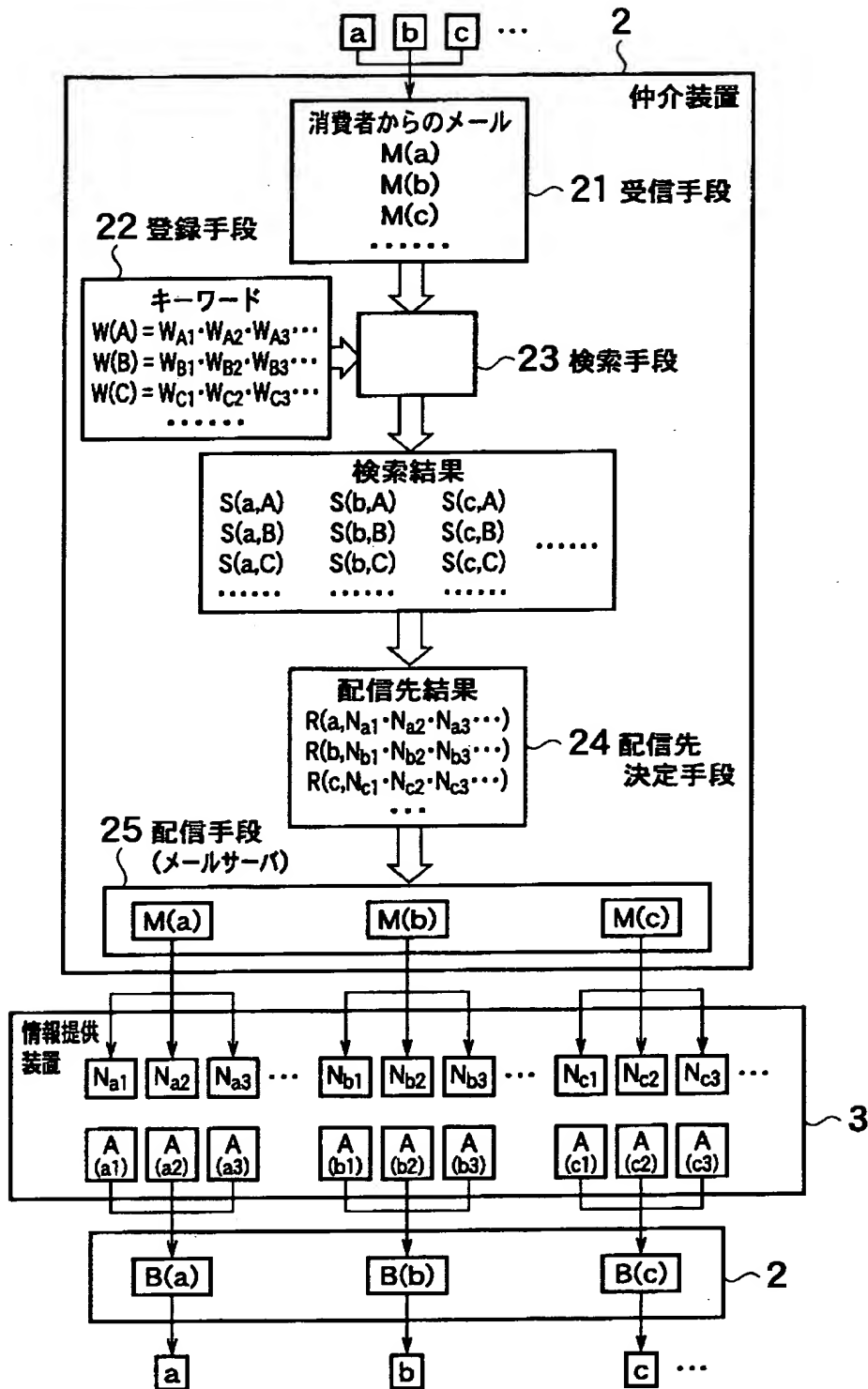
【書類名】 図面

【図 1】

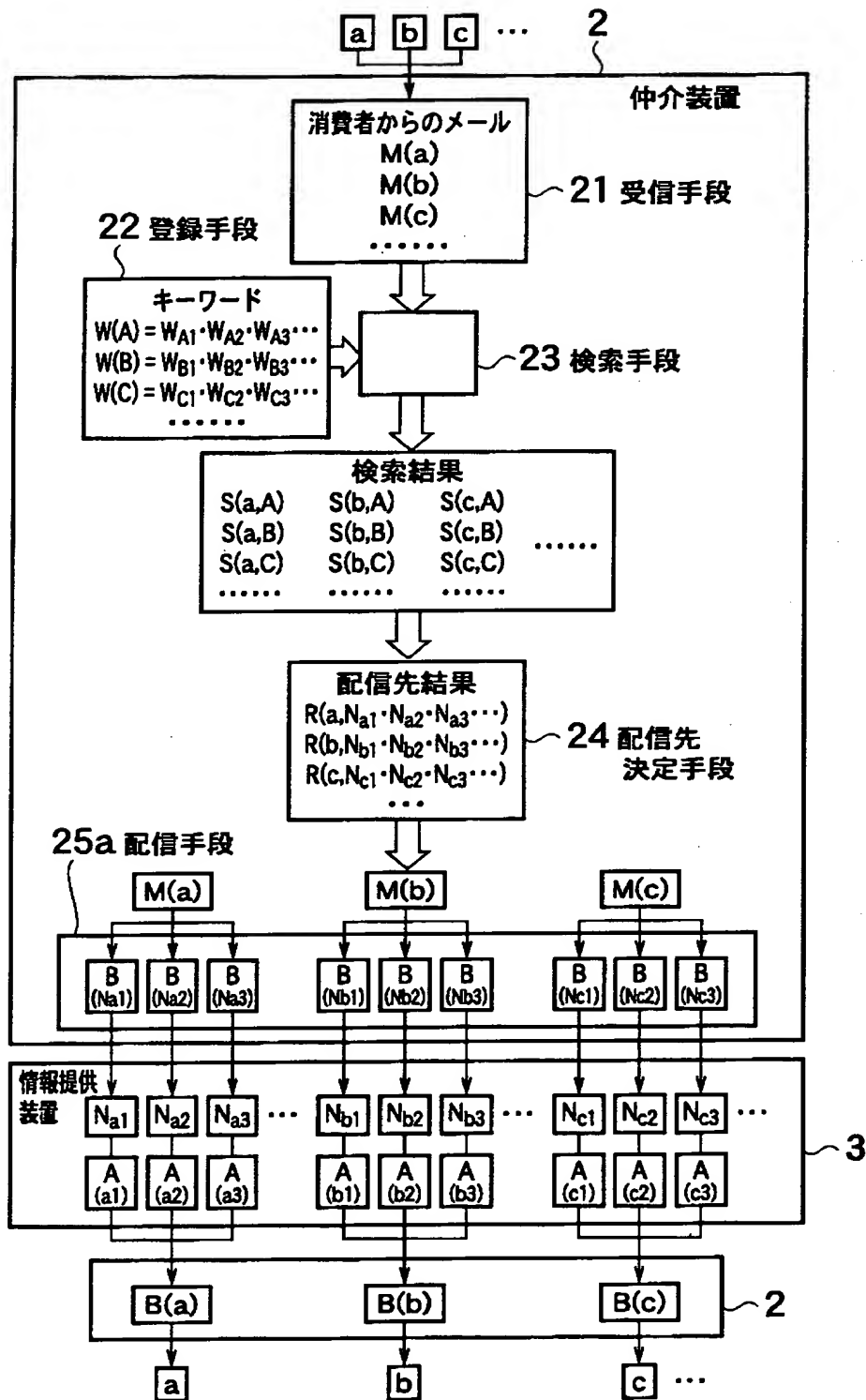




【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 消費者が希望する商品を的確に選択することができる商品情報提供システム及び仲介装置を提供する。

【解決手段】 情報希望者が商品についての希望を希望情報として入力し、情報提供者からの希望情報に対応する情報を受信する携帯端末 1 と、希望情報を情報提供者に仲介する仲介装置 2 とを有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000000918]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

氏 名 花王株式会社